



**JET**

# 「公共調達・重要インフラ向け蓄電池システムの安全 ガイドライン」を用いた製品認証について

2026年4月17日

一般財団法人 電気安全環境研究所

Japan Electrical Safety and Environment Technology Laboratories

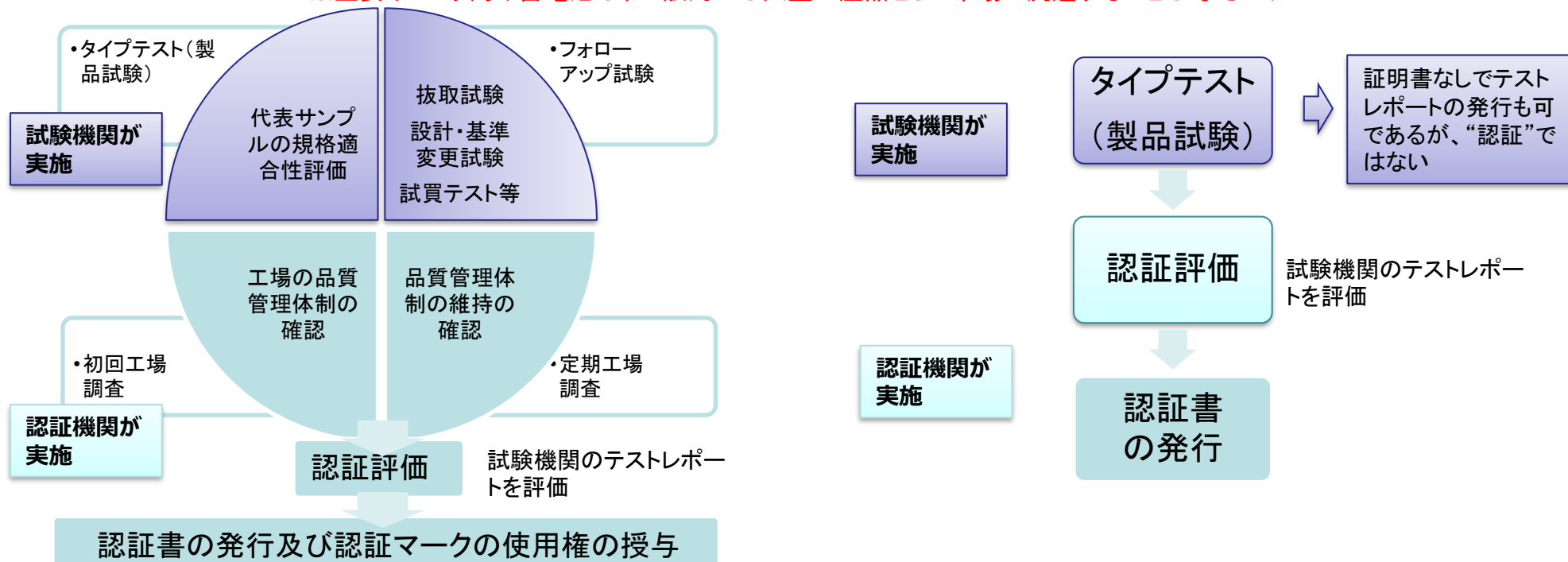
## 製品認証について

- ✓ 製品認証とは、製品を対象にした認証であり、認証に当たり、試験方法及び判定基準が必要。
- ✓ 試験所は、試験方法に基づいて試験を実施し、認証機関は、判定基準に基づき試験機関のテストレポートを評価（認証機関内の試験部門のテストレポート（認証部門からの独立性を確保）又は外部の試験機関のテストレポートを活用）。
- ✓ 製品認証のスキームは複数タイプあるが、信頼性の高い試験結果に基づき、製品認証がなされることが重要。

### ＜代表的な製品認証スキーム＞



※重要インフラ向け蓄電池は、一般的には大量生産品として市場に流通することは考えにくい





## NITEガイドラインに係る製品認証について

1. 製品評価技術基盤機構(NITE)の「公共調達・重要インフラ向け蓄電システムの安全ガイドライン」(以下、NITEガイドライン)は、様々なJIS・IEC規格以上の厳しい要件に係る試験が必要となるところ、信頼性の高い試験結果に基づきNITEガイドラインへの適合性が判断されることが重要。試験機関のテストレポートを認証機関が認証評価を行うことにより、第三者によるダブルチェック機能が働き、テストレポートの信頼性が上がると考えられる。
2. JETは、試験機関に対する国際規格であるISO/IEC17025や認証機関に対する国際規格であるISO/IEC17065に適合しており、蓄電池を含め種々の製品について、試験・認証の両方の業務を実施。
3. 試験に必要な設備がない場合は、別機関の試験所の試験設備を活用することで、製品認証を行うことが可能。  
※JETの試験員が、別機関の試験所(NLAB、メーカなど)でISO/IEC17025の必要な要件を確認し、立会試験を実施することで、別機関の試験所で実施した試験データの活用が可能。また、登録試験機関のテストレポートも活用可能。
4. これまでSマーク認証等の製品認証の実績があり、NITEガイドラインの様々なJIS・IEC規格以上の厳しい安全要件に対しても、別機関の試験所を活用しながら、NITEガイドラインの安全要件に対する製品認証(タイプ1aを含む)を行うことが可能。
5. NITEガイドラインの安全要件に対して、信頼性の高い試験とその結果に基づく製品認証を行うことで、安全性の高い蓄電池の普及に貢献していきたい。  
(NITEガイドラインの安全要件への製品認証のご相談がございましたら、ご連絡ください。)